

第二回北京大学図書館実習

逸 村 裕

Hiroshi ITSUMURA

愛知淑徳大学文学部と北京大学信息管理系で締結されている交流協定に基づき、2000年9月11日(月)から9月15日(金)の四泊五日の日程で第二回北京大学図書館実習を行なった。今年度の参加者は学部三年生14名、四年生7名、大学院生5名、大学院研究生1名、教員1名の計24名であった。

9月11日(月)

雨の名古屋空港をJL787にて発ち、定刻に天津空港に到着した。天候は良好。気温は30度近いが乾燥した青空が広がっていた。空港にて北京大学信息管理系の李常慶助教授にお会いする。今回は前年の反省に鑑み、ツアー添乗員と通訳を日本から手配した。

経路の関係で当初の予定を変更し、ホテル到着前に北京市南西にある盧溝橋及び抗日戦争記念館を見学した。

夕食を北京市内でとり、北京国際飯店に到着。ホテルは天安門近くにあり、交通の便と治安のよい場所である。

9月12日(火)

朝、ホテルでのNHK-BSやCNNのニュースで東海地区豪雨を聞く。学生に自宅への連絡を取るよう指示をする。

ホテルに李常慶先生と岳剣波先生が案内役としてお見えになる。8:00にバスで出発。今年

の学生も集合時間をきちんと守る。交通渋滞の中を北京国家図書館へ向かう。

国家図書館では特別室に案内される。愛知淑徳大学側からの挨拶、王副部長の説明。そして図書館ツアー。北京国家図書館は1909年設立されたアジア最大規模の図書館である。国立図書館、研究図書館、公共図書館、図書館インターネットセンターの4つの機能がある。蔵書2194万冊、日本語は82万冊の規模がある。図書は860万冊、逐次刊行物は24万種。スペシャルコレクション(マイクロフィルム、有名な著者の生原稿など)、視聴覚資料5万件、専門資料は20万タイトル、電子資料4千タイトルを数える。電子閲覧室はインターネット用とCD-ROM用の二室がある。学生はOPACでの中国語入力方法を岳剣波先生に習っていた。

貴重書室では「敦煌発見100周年記念特別展」が開催されていた。写本が多かったものの現物も展示してあり中国の奥深さを改めて感じる。

11:00に北京大学へ移動。キャンパスを散策する。学内に湖があったりする広大さに学生は驚く。学内来客用食堂室へ。信息管理系呉慰慈学部長がお見えになりスピーチ。そして昼食。

13:30 呉学部長講演「中国におけるデジタル図書館の研究と開発に関する状況」を聴く。ここでは北京大学の概要と信息管理学部の説明から始まり、中国で展開されているデジタル図書館研究動向について講演があった。

15:00 北京大学図書館見学。

* 愛知淑徳大学文学部図書館情報学科

図書館員の李東明氏の案内により北京大学図書館の説明と見学があった。刊行数年の図書でも利用の多さから本がぼろぼろになっていることに学生は驚いていた。

その後、今年の新企画である北京大学学生寮訪問を行なった。愛知淑徳大学の学生を三班に分け、北京大学寮生室を訪問し、交流を図った。会話がどの程度成立するか不安もあったが、実際には若者同士かなり盛りあがったようである。一時間後、移動し留学生会館にて懇親会を行なった。ここには呉学部長、張副学部長らも参加された。北京大学学生との懇親の続きも行なわれた。話の内容は幅広いものであった。杜甫、李白の話から北京大学生の関心が高い日本文化ードラえもん等のコミック、鈴木保奈美、キムタクら日本文化に対する関心が高く、また一方で日中の歴史問題についての意見の交換も行なわれていた。

20:00 北京大学を出発しホテルに戻る。

9月13日(水)

8:30にホテルを出立。天安門広場、故宮博物院、時計館、景山公園を見学する。どれも博物館として一流のものである。詳細な説明を受ける。学生たちは中国のスケールの大きさに圧倒されたようである。

昼食後、胡同へ向かう。人力三輪車に乗車し、四合院そして民家を訪問した。中国伝来の古い民家であるが、その家のお嬢さんは清華大学生だそうで、奥の自室にはアSEMBLされたPCが設置してあった。

15:00 繁華街の王府井へ。夕食まで自由行動。学生の多くは買い物に散っていった。見回りを兼ねてあちこち歩いたが学生たちは困った様子はなかったようである。

夕食は四川料理。四川出身の李先生は「これは本物の四川料理です」と太鼓判を押していた。

19:00 ホテルに戻る。体力に余裕のある者は雑技団鑑賞に向かった。

この日は中国の歴史を現在の姿を学ぶのによ

い機会であった。故宮博物院の雄大さと胡同での民衆の暮らしぶり、そして現代中国の繁華街王府井を回ることができた。また最後の雑技団は中国らしい雰囲気を漂わせていた。

9月14日(木)

8:30 ホテル出発。十三陵へ。明皇帝の墓のひとつ定陵地下宮殿見学。ガイドの張氏は文化大革命により一部破壊された歴史も淡々と説明してくれた。

その後万里の長城へ。おりしもアルゼンチン大統領が来訪されているとのことで行き先を変更して嘉峪関長城へ。自信のある学生は男坂へ、自信のない学生は女坂へ向かった。男坂は峻急で、最終ポイントまで達した学生は一名だけであった。

昼食後西太后の夏離宮である頤和園へ。美しい別荘。天気も上々で山も湖も映えていた。湖遊覧船に乗船する。この日は中国観光に終了する。

夕食是北京ダック。

9月15日(金)

7:45にホテル出発。天壇公園見学。多くの老人が集い、胡弓の演奏や太極拳を行っていた。その後バスで天津へ。天津旧租界地を見学。

15:35 昼食後、日本航空にて名古屋へ全員無事に戻る。

この間、昨年度より進めている中国公共図書館の情報技術現状調査について打合せを行なった。中国の国立、省立、市立、県立計120館に対して調査を行なうものである。日本での1998年の調査例を基に中国の実情に合った質問紙を作成し、集計にあたっている。2000年11月の時点で94館から回答があった。この段階で過半数の公共図書館がなんらかのインターネットとの接続を行ない、サービスに供している。この詳細についてはなお作業中である。